



株式
会社 **北陸電設**

会社案内





人が集う場所をつなぐ
照明・電気設備



情報の流通をつなぐ
情報・通信設備



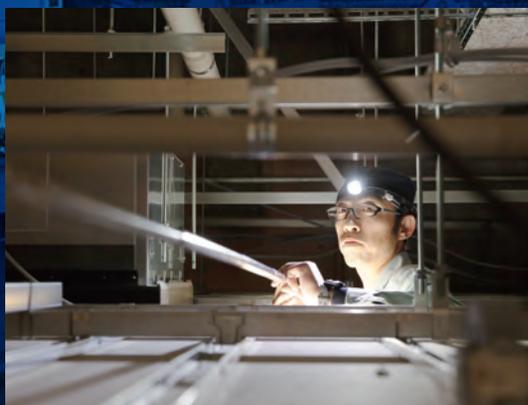
ものづくりの現場をつなぐ
機械・計装設備



「つなぐ」を創造する。

To create a connection.

人を継^つなぎ、情報^つを接^{つな}ぎ、創造^{つな}を繋ぐ



今も絶えず成長をつづける都市。

その原動力となっているのが、エネルギー、情報、光。

これらを安全に、確実に供給・伝達することが北陸電設の仕事です。

北陸電設は広範囲で重要な仕事の一つひとつを

ニーズに合った設計と工事仕様書に基づいた施行計画を行い

常に創造性の高い仕事を進めています。

都市の成長が新しいニーズを生み、それに応えるために私たちも向上し、

新しい力を伝えたいと考えます。

創造の「つな

「技術」が誰かのために活かされていることを
実感できる仕事があります

一人ひとりの力が都市を動かし 大きな創造となる

昭和 34 年の創業以来、技術力の向上を積極的に進め、仕事のクオリティを第一に考え、国や県、県内各市町村、さらには県内外有力企業の電気設備工事を行ってきました。

現在は都市型社会の多様なニーズに応じ、電気設備や計装のみならず、CATV や LAN 等の情報通信設備まで広く手がけています。これらの仕事はエネルギーや情報といった、都市に生命力を注ぐ重要な役割があります。

この使命を社員一人ひとりが受け止め、自らの技術と感性を高め、それらが集積された総合的な技術力と確かな施工で貢献して行けるよう、人材の育成に力を入れています。

一人ひとりの磨かれた力が集まり、新しい時代を創造する ——
それが北陸電設の理念です。



地域とのつながりや環境への配慮を大切に、社会に貢献できる企業を目指しています



ボランティア活動

地域貢献と社員のモラルの向上を目的として取り組んでいます。

- 会社周辺道路の側溝の清掃
- 「ふるさと富山美化大作戦」への参加
- 除雪ボランティア

エコ活動

地域と連携・協力しながら具体的な温暖化防止行動に取り組んでいます。

- チームとやまし
- とやまエコライフ・アクト10宣言

その他の活動

本社は広田校下の子どもたちの緊急避難所としても機能しています。

- あいの家110番

「ぎ手」を育てる



社員の技術力の伝承と向上のために 徹底した教育・研修・支援を行っています

当社では社員の資格取得支援や作業訓練を積極的に行い、また資格手当等の制度も設け、社員の技術力の向上を図っております。数名ごとのグループを編成し、電灯配線の基礎から動力配線、シーケンス制御やケーブルテレビ・光



ケーブル通信等の配線・測定・修理まで、当社の全部門の技術を数年で取得できるよう、マンツーマンの指導により、一人ひとりが会社の顔として業務を遂行できるよう努力しています。

また、電気工事士、施工管理士、有線ケーブルテレビ、電話等の資格取得支援として、参考図書の貸与や毎月の模擬試験等の配布、実技試験の実習を繰り返し実施しています。

作業訓練

- 電気制御回路配線の実習
- 情報通信用測定器、電界強度計
スペクトラムアナライザー
LANケーブル特性測定器の実習
- 光ケーブルの融着接続
減衰特性測定の実習
- 高圧ケーブル端末処理の講習
- 端子締付講習

資格取得支援

電気工事士第一種・第二種、施工管理技士1級・2級受験指導、学科試験模擬テスト、実技試験実習練習、実地試験模擬／消防設備士、有線テレビジョン技術者資格取得指導／労働基準法や労働安全衛生法に基づく各種教育の受講 など

働きやすい環境づくりに取り組んでいます



一般事業主行動計画の策定
社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境の整備を行うために、具体的な目標と対策を掲げています。



子育て応援企業への登録

子育てを応援するために、具体的に取り組んでいます。

- 女性育児休暇100%(最長1年)
- 出産時に立ち会えるよう業務の調整やサポート体制の確保 など

わたしたちは3つの事業を軸に、都市の成長に貢献します

人が集う場所をつなぐ

照明・電気設備

内線工事

官公庁・民間企業等の電気工事(照明設備、動力設備、防災設備)の施工を行います。

●主な施工実績

県立中央病院／富山市体育館／神通川浄水場／市民病院発電機／公営住宅団地／大長谷発電所／熊野川ダム／工場ホイスト設備／メガソーラー事業太陽光発電設備

外線工事

主に屋外の電気工事を行います。

●主な施工実績

富山大橋道路照明設備／国道8号道路照明設備／富岩運河環水公園照明設備／庵谷トンネル照明設備／針原中町横断歩道融雪設備／工場受変電設備



情報の流通をつなぐ

情報・通信設備

光通信ケーブル工事

●主な施工実績

CATV光幹線架設／国交省河川情報用光ケーブル敷設／医療機器用光ケーブル敷設／企業局光伝送路敷設

構内情報用配線・LAN用配線

●主な施工実績

医療用LANケーブル敷設／富山空港情報受信装置／県立中央病院情報ネットワークの設備／県警本部通信機器整備／町内会防犯カメラ設置／学校テレビ共聴設備

CATV

エリア拡張工事(幹線延長)／個別住宅引込及び宅内配線／機器修理／取替、調整工事

ものづくりの現場をつなぐ

機械・計装設備

機内配線工事

機械の運転制御を担う電気回路の配線・結線を行っております。配備される機械と共に現地の工場で設置・組立てを行うこともあります。



「つなぐ」ことを創造し続け、更なる発展を志すために

北陸電設の仕事は、生活に不可欠なエネルギー・情報に関する設備を創ることです。工事の使用・工法・技術など、仕事を進めるにあたって、私は社員一人ひとりに「ものを創る楽しさ」を発揮するよう求めています。

「ものを創る楽しさ」とは、人が本能として持っている創造力です。子供が積木を積んで遊ぶように、少年が夢中になってプラモデルを組むように、創る事への感覚を豊かに磨いて当社の仕事を推進したいものです。

企業の創業時には発電・変電工事からスタートし、時代に合わせて工場や公共施設の電気工事、そして近年は光ケーブル・CATV・インターネット等の情報通信分野と業務内容を充実させてきました。これからは新しい分野にチャレンジする人材を養成し、更なる発展を志しています。

代表取締役社長 藤岡 健一



会社概要

会社名 株式会社北陸電設
 代表者 代表取締役社長 藤岡 健一
 住所 〒930-0813
 富山市下赤江町一丁目13番15号
 TEL 076-441-1114
 FAX 076-441-1115
 創立 昭和34年5月
 資本金 5,000万円
 事業内容 電気工事業
 電気通信工事業
 消防施設工事業
 土木工事業
 取引銀行 北陸銀行岩瀬支店
 富山第一銀行岩瀬支店
 取引先 国土交通省・文部科学省・総務省
 富山県・富山市・県内各市町村
 民間工場・建設会社
 他

官庁登録及び許可の状況

昭和 48年 7月18日 富山県知事許可 (般)第1176号
 電気工事業・消防設備工事業 新規取得
 昭和 58年 3月18日 富山県知事許可 (般)第1176号
 電気通信工事業 追加取得
 昭和 58年 7月28日 富山県知事許可 (特)第1176号
 電気工事業 取得
 平成 17年 5月 富山県知事許可 (般)第1176号
 土木工事業 追加取得
 平成 25年 4月 人材派遣業
 平成 28年10月 産業廃棄物収集運搬業
 (許可番号 01608191348)新規取得

アクセス

- JR「富山駅」より車で約10分
- 富山ライトレール「下奥井駅」より徒歩約13分



本社社屋



研修棟



第1倉庫



第2倉庫

株式会社 北陸電設

〒930-0813 富山市下赤江町一丁目13番15号

TEL.076-441-1114 FAX.076-441-1115

E-mail : hokusetu@hokusetu.co

北陸電設 富山

検索

www.hokusetu.co

会社のあゆみ

創業者・畠山才次郎は戦前の日満アルミ(現昭和電工富山)に勤務後、昭和15年満州に渡り、電力工事の経験を積む。

昭和23年に帰国し、経験を活かして電気工事業を起業し、工場受変電や水力開発工事等の電力工事に参入。

昭和34年「有限会社北陸電設工業所」を設立した後は弘電社外線部北陸出張所も兼務した。

主力工事は発変電設備から工場電気設備、道路電気設備、建物電気設備と変わり、現在は光通信インターネット部門・機械計装部門・内線工事部門を構成し通信の数ボルトから変電所の6万ボルトまで広範囲な対応ができる企業となった。

沿革

- | | |
|------------|---|
| 昭和 34年 5月 | 富山市岩瀬松原町38番地にて資本金30万円で
有限会社北陸電設工業所を設立
初代社長 畠山 才次郎 |
| 昭和 34年 8月 | 富山県知事登録(わ)第2466号 取得 |
| 昭和 45年 7月 | 穴掘建柱車を内線業者として初めて導入 |
| 昭和 46年 6月 | 富山市下赤江町一丁目13番15号に倉庫を新築 |
| 昭和 48年 3月 | 上記住所に新事務所を新築 |
| 昭和 49年 5月 | 富山市岩瀬松原町より下赤江町の新事務所へ業務を移転 |
| 昭和 50年 9月 | 資本金1,000万円へ増資 |
| 昭和 50年 12月 | 株式会社北陸電設に組織変更 |
| 昭和 62年 1月 | 資本金1,700万円に増資 |
| 平成 2年 3月 | 資本金2,000万円へ増資
二代目社長 畠山 志郎 就任 |
| 平成 7年 10月 | ケーブルテレビ工事に参入 |
| 平成 9年 7月 | 第1号の高所作業車を購入 |
| 平成 13年 11月 | 資本金4,000万円へ増資 |
| 平成 15年 | 機械計装工事に参入 |
| 平成 17年 1月 | 資本金5,000万円への増資 |
| 平成 20年 11月 | 三代目社長 藤岡 健一 就任 |